まちの話題

鹿角の夏を彩る 伝統の祭り

今年も鹿角を彩る伝統の夏祭りが市内各地で開催されました。

8月7日、8日に花輪の七夕行事である「花輪ねぷた」が行われ、巨大灯ろうと大太鼓がまちを練り歩きました。7日には、大太鼓と王将のコンクールが行われ、迫力ある大太鼓の演奏と王将の美しさが競われ、観客を魅了しました。

15日には、秋田県無形民俗文化財の「大湯大太鼓まつり」が道の駅おおゆで開催され、重厚な太鼓の音が大湯のまちに響き渡りました。

19日、20日に行われた「花輪ばやし」では、豪華絢爛な屋台が花輪のまちを練り歩き、勇壮なお囃子が訪れた観客の心を躍らせました。一番の見どころといわれる駅前行事では、全10町内の屋台が集結し、その迫力と美しさに大きな歓声が上がっていました。

世界文化遺産推薦候補に決定

7月30日、文化庁において文化審議会世界文化遺産部会が開催され、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が今年度の世界文化遺産推薦候補として選定されました。

今回は、競合する自然遺産などがない見通しで、2021年の登録に向け、大きな前進となりました。

7度目の挑戦での悲願達成となり、地元住民や関係者は、喜びに沸きあがりました。

未来を担うアスリートの熱戦 浅利純子杯

7月27日、花輪商店街を舞台に、浅利純子杯争奪第13回鹿角駅伝が開催されました。

地元の小中学生をはじめ、北東北各地から集まった全53チームが熱戦を繰り広げました。

気温が30度近い暑さの中、選手らは襷をつなごうと懸命に走り抜き、沿道に詰めかけたたくさんの観衆からは大きな声援が送られました。

中学生男子の部では、花輪第一中学校のアンカー古田選手が逆転し、見事優勝を飾りました。

真夏の鹿角を駆け抜ける 十八駅伝

8月7日、第72回十和田八幡平駅伝競走全国大会が開催されました。

強い日差しが照りつける炎天下での過酷なレースとなりましたが、選手は力強い走りで懸命に襷をつなぎました。

女子の部では、東北福祉大Aが優勝を飾り、男子の部では、小森コーポレーションが2連覇を達成しました。

地元出身の選手も出場するなど、沿道には多くの観客が詰めかけ、選手たちに拍手と声援を送っていました。

八幡平相撲大会

8月15日、第40回八幡平相撲大会が八幡平相撲場で開催され、秋田、青森、岩手の小学生力士およそ90人が力をぶつけ合いました。

40回目の開催を記念して、元大関魁皇の浅香山親方が招かれ、弟子とともに小学生たちに稽古をつけました。

はじめに稽古の一部が披露され、相撲の基本である四股の練習量に、場内からは驚きの声が上がっていました。

子どもたちに稽古をつける場面では、子どもたち3人がかりで力士を押しましたが、動じることなく簡単に持ち上げるなどして、観客を沸かせました。

希望を胸に 鹿角市成人式

8月16日に文化の杜交流館コモッセで成人式が行われ、新成人233人が会場に集まりました。

新たな試みとして、市内各中学校の卒業生代表5人が住みたいまちについて主張し、新成人がそれぞれ共感できる主張に投票する催しが行われました。最も票を得た主張は、兎澤真衣子さんで「最低賃金の引き上げによる地域経済の活性化」です。この主張は、後日市議会に意見として提出されます。

また、式典では、新成人代表の松岡立さんが「十和田八幡平のような雄大な心をもち、尾去沢鉱山のような輝かしい人生を歩みたい」などと、理想の将来像を鹿角の魅力に例えて述べ、「鹿角をもっと素晴らしいまちにするために、日々成長しどんなことにもあきらめない立派な大人になります。」と抱負を語りました。

広報かづの「まちの話題」掲載写真は無料で提供しています。

このページに掲載している写真は、無料で提供しています。写真を希望される方は、お問い合わせください。（著作権などの関係で提供できない場合があります）

問 政策企画課 政策推進班
☎30-0205